Japan Geoscience Union Meeting 2013
(May 19-24 2013 at Makuhari, Chiba, Japan)
©2013. Japan Geoscience Union. All Rights Reserved.

MIS32-08 会場:106 時間:5 月 21 日 16:15-16:30

震災経験にもとづく南三陸海岸ジオパーク構想
Concept for Geopark of Southern Sanriku Coast with the disaster experience

久利 美和 [1*], 谷口 宏充 [2], 永広 昌之 [3], 宮原 育子 [4]
Miwa Kuri[1*], Hiromitsu Taniguchi[2], Masayuki Ehiro[3], Ikuko Miyahara[4]

[1] 東北大学大学院理学研究科・理学部, [2] 東北大学東北アジア研究センター, [3] 東北大学総合学術博物館, [4] 宮城大学事業構想学部事業計画学科
[1]Graduate School of Science and Faculty of Science Tohoku University, [2]Center for Northeast Asian Studies, Tohoku University, [3]The Tohoku University Museum, [4]Department of Business and Project Planning, School of Proje

ジオパーク (geopark) は, 地球科学的に見て重要な自然遺産を含む, 自然に親しむための「大地の公園」で, 地球科学分野以外の自然遺産や文化遺産を含め, それらの遺産を保全するとともに, ジオ (地球) に親しみ, ジオを学ぶ旅 (ジオツーリズム) を楽しみつつ, 地 域の復興・振興と教育に役立てようとするものである.

宮城県の海岸地域は, 気仙沼から牡鹿半島までの, 古生代~中生代の地質が典型的なリアス海岸をつくる地域, 石巻平野や仙台平野のように, 新生代第四紀の新しい地層が直線的な海岸をなす地域, および平野にわって入った丘陵-多島海からなる松島地域など, 変化に富んだ自然が見られる場所であり, そこには学術的にも景観の上でも重要な, 高い評価を受けている多くの自然遺産が存在しており, このような自然遺産をジオパークとして積極的に活用すべきと考える.

昨年の東北地方太平洋沖地震とそれにともなう津波によって, 東北地方の太平洋沿岸は大きな被害を受けた. 地震やそれにともなう津波などの現象は地球の営みの一側面であり, それを避けて通ることはできない. 今回の津波は, 明治以降の観測史では知られていない「想定外の」規模で海岸地域を襲った. しかしながら, 地球の営みの時間的・空間的スケールは私たちの日常生活のそれとは大きく異なり, 地球史の視点でみれば今回の津波は決して「想定外」ではない. これを伝える場としてもジオパークは社会に大きな役割を持つ。

将来の地震・津波に備え, 防災教育を進める上で, 地球を知る-私たちがどのような場所にすんでいるのか, 地球の営みはどのような時間的・空間的スケールをもっているのかを伝える目的で, ジオパークを立ち上げ, ジオツアーを楽しむでもらうことで, 被災地の経済復興に資するとともに, もっとも効果的な防災教育, 自然災害に備えるための教育をめざす.

本発表では, これまでに行なった行政や学会との連携によるシンポジウム, 科学イベントへの出典を報告するとともに,「防災教育」と「地域振興（復興）」での視点での効果的な方法を目指して, 地域での受け止められ方への課題を整理する.

キーワード: ジオパーク, 南三陸海岸, 防災教育
Keywords: geopark, Minami Sanriku Coast, education for natural disaster